

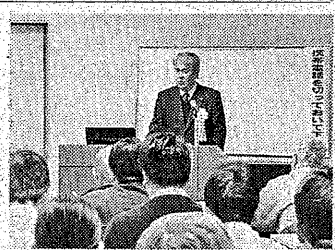
交通事故防止の 具体策を学ぶ

日建連中部ら
講習会開催

日本建設業連合会中部
支部は1月30日、名古屋
市内で愛知県建設業協会
と共催で「建設工事の交
通災害等事故防止講習

会を開いた。愛知県警
察本部交通部交通規制課
の清水浩警部が「路上工
事などにおける交通事故
防止」について話した他、
3人の講師が建設工事に
伴う交通事故を防ぐ具体
テーマについて講話し

た。これには約70人が参
加した。
日本建設業連合会中部
支部安全・環境委員会交
通対策部会の森下隆敏部
会長は、「交通事故の発
生状況を調査した結果に
よると、事故の原因は、
安全運転義務違反、徐行
違反、ハンドル操作誤り
などが報告されている。
運転手にゆとりがないこ
と、マナーが守られてい
ないことから発生するこ
とが多い。工事現場でも
安全標示の徹底などが求
められる。安全運転を励
行する具体策を持ち帰っ
て自社の安全管理に生か



してほしい」とあいさつ
した。写真。
清水警部は、愛知県が
事故発生件数ワースト1
を15年続けている状況を
説明した後、「愛知県で
200人が高い命をおと
す結果となった。昨年よ
り減少させられるよう最
大限に努力していきたく
い」と強調。2017年
度交通事故の現状、工事
現場における事故事例、
災害時における通行など
について話した。
このうち、事故事例で
は、交通誘導員が死亡し
た事例、道路横断中の作
業員が通行車両にはねら
れたケース、仮復旧現場

での二輪車転倒事故など
を例示。一緒に働く人の
声掛けの重要性を改めて
強調した。
当日は森組新名神水沢
南工事作業所の吉田洋所
長が「高速道路建設工事
における土運搬の安全管
理」、ソクテックの神谷
秀行代表取締役が「建設
車両運行の注意喚起マッ
プシステム」、日本建設
業連合会安全対策本部公
衆災害対策委員会交通対
策部会の守屋孝之専門委
員が「建設工事に伴う交
通事故防止」について話
した。